

## 議事概要

(会議名等) つくばチャレンジ実行委員会顔合わせ	
開催日時	平成30年6月4日(月)午後2時15分から午後4時15分まで
開催場所	北九州コンベンション協会 AIM313
(出席者)参加委員:19名 つくば市:坪内顧問、中山(秀)課長補佐、齋藤[記録者]、中山(沙)研修員	
<b>【内容】</b>	
1. 目的 実行委員の顔合わせ並びに本年度のコース説明等。	
2. 報告事項	
・2018年度コースはつくば市役所庁舎南側をスタートとし、研究学園南口交差点の横断歩道を渡り、研究学園駅前公園内に入る。研究学園駅前公園の南東にある折り返し点を經由し、同公園の北西をゴールとする。公園内には3～5か所のチェックポイントを設ける。	
・遠方参加チームのために、11/4～11/11期間市役所内にロボット置き場を設ける。	
3. 走行コースについて	
○2台同時スタート	
・2台同時スタートして、先行したのロボットがもう一台のロボットの進行を妨げた場合どうする？ ⇒リスタートを許すか、明らかに進行に影響すると認められた場合は非常停止をしてもゴールまで再走行することを認める。	
・2台のうち片方のみが遅れた場合、次スタートをどうするか？もう一方のレーンはスタートさせてもよい？ ⇒常に2台同時スタートとする。そのため時間を遅らせても次の2台同時にスタートできる状況まで待つ。	
・「スタート後20mを2分以内で通過する」ルールは妥当か？ ⇒もし妨害的な走行があった場合は弾力的な運用が必要。実験走行期間中に妨害かどうか判断基準つくる。 2台スタートは初めての取り組みであり、どんな問題が出てくるかもチャレンジのひとつ。	
○横断歩道	
・境界線1通過後、停止線1a⇒1bまでロボットが歩道側に走行してもよいか。 ⇒実験走行中に確認するが、基本的には問題ない考える。	
○チェックポイント	
・任意のチェックポイントにした理由は？ ⇒任意チェックポイントに対してどうアプローチするかを見たい。全チェックポイントを通過するようなアプローチもありだと思ふし、なにが課題になるか一度チャレンジしてみる。	
・チェックポイントは誰がどのように選ぶか？ ⇒シークレットにする。	
○探索者（実験走行日は一部マネキン使用）	
・探索者位置がチェックポイントから50m以内という記述が分かりにくい。	

⇒チェックポイントから道なりに50mとする。また、チェックポイントごとに探索者がいるエリアを事例としてHPで公開する。[事務局で対応]

○その他

- ・固定コースという文言が分かりにくい。探索対象が固定コースから外れたエリアにいる場合、固定コースの完走を目指すチームは一度コースを外れた場合もう一度同じ場所に戻る必要があるのか
- ⇒研究学園駅前公園入口(北西側)→折り返し(南東側)→ゴール(北西側)を走行できれば良い。固定コースではなくモデルコースと名称を変更し、HPでアナウンスする。[事務局で対応]
- ・民間の人とロボットがぶつかった場合の責任所在はどこ？
- ⇒つくば市でイベント保険に入る。接触の度合いによるが基本的には弁償費用は保険で対応する。

以上